

# 平成20年度第1回保健医療従事者研修会

## 「命といのちを見つめて」

近年、医療が患者にとって受け身のものではなく、医療従事者と対等な立場で受けられるものをめざして、インフォームド・コンセントの徹底が望まれ、その一例としてがん告知も変わってきています。本人や家族が、セカンドオピニオンを求めたり、最期の時間に在宅ターミナルケアを選ぶなど、選択できる方向に向きつつあります。

一昨年に発表された医療制度改革では、在宅療養支援診療所が創設され、在宅での終末期ケアや看取りに配慮した加算が設定されました。今後、そのような背景からさらに終末期ケアに携わる職種や人数も増えてくると考えられます。そのことから、本人や家族はもちろん、支援をする保健医療従事者もしっかりとした死生観をもつことで、ケアがより患者の気持ちに添ったものになると考えられます。

‘死と生’の視点をとおしてケアについて一緒に考えてみましょう。

日時

平成20年8月9日(土)

午後1時30分～4時(受付開始 午後1時)

内容

「在宅で最期を迎えるための体制づくり ～現状と課題～」

滋賀県健康福祉部医務薬務課

副参事 草野 とし子氏

「命といのちをみつめて」

病児遺族わかちあいの会「小さないのち」代表 坂下 ひろこ氏

会場

大津市勤労福祉センター 大会議室

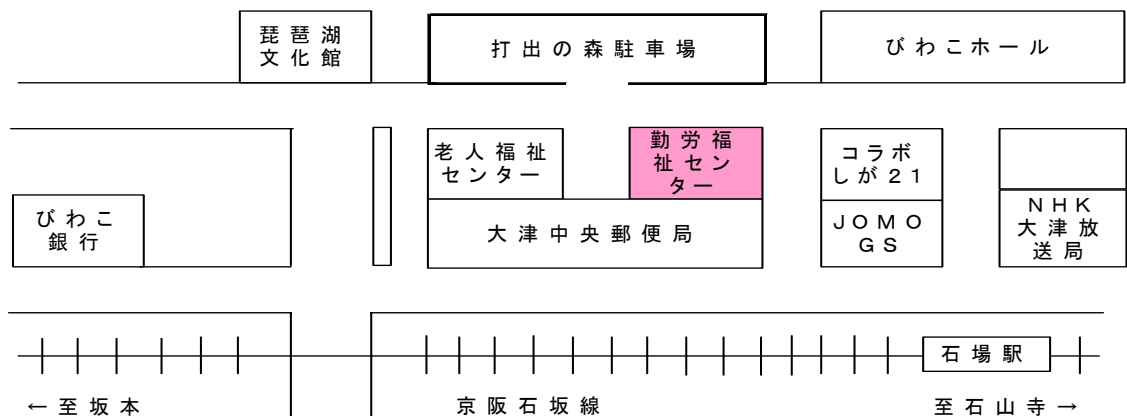
大津市打出浜1-6

JR琵琶湖線<大津駅または膳所駅> …徒歩 20分

京阪電車<石場駅> …徒歩5分

※会場には駐車場がありません。

公共交通機関、または有料駐車場をご利用ください。



申込み先

(財)滋賀県健康づくり財団 担当 西沢

TEL(077)525-2733 FAX(077)521-0471